

令和7年度 第5回運営推進会議議事録 看護小規模多機能ホームやすらぎ		記載日 令和7年12月9日																		
		記載者 川添 真希																		
議題	1. 交流・行事・地域活動の実施状況 2. 利用者状況・サービス実施状況 3. 事故・苦情・感染・相談受付報告 4. 地域の現状等情報交換・助言など 5. お知らせ																			
日時	令和7年12月9日(火)開催																			
出席者 敬称略	上中3区 町内会会長 川本 祥平 グループホームなごみの郷可部 廣森 靖司(欠席) 三入・可部地域包括支援センター 片山 崇紀 看護小規模多機能ホームやすらぎ 川添 真希 古川 純子 大道 麻衣子 広島市民生委員 藤原 照夫 ご利用者家族代表 植田 美鈴(欠席) 広島大学(2年生) 看護実習生 2名																			
欠席者 敬称略																				
議事	1. 交流・行事・地域活動の実施状況 ・誕生日を迎えたご利用者 10月:4名 11月:2名 ・秋のドライブツアーコ部運動公園へ紅葉狩り 福祉車両を使用し送迎 2日間に分け実施(ご家族数名参加) ・地域活動報告 秋祭り上中3区神輿渡御 にのみやグループ職員4名参加(前日準備、神輿担ぎ) 2. 利用者状況・サービス実施状況																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>要介護1</th><th>要介護2</th><th>要介護3</th><th>要介護4</th><th>要介護5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td><td>2</td><td>4</td><td>4</td><td>11</td><td>10</td></tr> <tr> <td>11月</td><td>2</td><td>4</td><td>4</td><td>10</td><td>7</td></tr> </tbody> </table> <p>□ 平均要介護度: 4.1 (男性: 3.9 女性: 4.2) 新規利用者・終了者</p>			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	10月	2	4	4	11	10	11月	2	4	4	10	7
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5															
10月	2	4	4	11	10															
11月	2	4	4	10	7															

	新規利用者	終了者
10月	7	6
11月	5	2

<新規利用者> <終了者>

- ・ ターミナルケア
- ・ 医療的ケア
- ・ 退院直後
- ・ ご逝去 7名
- ・ サービス移行 1名

2F (ラシュールメゾンやすらぎ)

平均入居者数：10月名、11月名

3F (看護小規模多機能サービス)

自宅平均利用者数：14名

うち、3名特養入居待ちのため連泊中（運営推進委員の承認を得た）

3. サービス実施状況（1日平均人数・回数）

	平均登録者数	通い平均定員18名/日	泊り平均定員9名/日	訪問介護	訪問看護
10月	25.4	13.7	5.2	19	24
11月	26.3	15.0	6.0	15	20

□ 利用者性別割合：男性 40.9% 女性：59.1%

□ 平均年齢 84.7 歳

4. 事故・苦情・感染症・相談受付報告

インシデント・アクシデント・感染

	インシデント	アクシデント	苦情	感染症
10月	3	6	0	0
11月	8	12	1	1

※転倒 6件、与薬 1件、破損 1件、外傷 6件、その他 1件

レベルI 6件、レベルII 7件、レベルIII 5件

※感染症 インフルエンザ A型（職員）1名

□ 事故状況・対策

レベルIII（10月 1件、11月 4件）

	<p>＜事故状況・対策＞</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械浴のミスト後の体を拭く時に左第二趾より出血を発見し、利用者の爪が剥がれている状態であった <u>対応策</u>：肥厚した爪や変形した爪は、早めに対応し爪切りややすりなどでケアをする。困難な場合は皮膚科へ受診を勧める 入浴中に左前腕に 0.5 cm の剥離を発見する。いつどのようになつたか原因不明 <u>対応策</u>：両前腕のアームカバーを毛糸のものから女性用日焼け防止のカバーへ変更して検証する 介護士より右手背に傷があると報告あり。車椅子からベッド移乗し臥床介助後に気づいた 三日月状、1.5 cm 程度の裂傷。洗浄しワセリン塗布、不織布保護、包帯固定をした 2人介助でベッド臥床介助を行つた。体勢を整える際、右前腕に皮膚剥離発見。出血はなく、ほぼ止血された状態だった 皮膚保護テープ、不織布を使用し右手背の剥離部分を処置・包帯保護した（同利用者 2 件） <u>対応策</u>：皮膚の乾燥や脆弱化あり軟膏やクリームを使用し保湿ケア、衣類の着脱時摩擦に注意する <p>□苦情報告</p> <p>内容</p> <p>自室よりポータブルトイレを叩く音が聞こえ訪室した。 ナースコールが手の届かない位置に置いてあり、本人様より筆談で名指しで苦情あり。 「〇〇さんは最悪だ、あんな介護はあり得ない、二宮先生にも言いたい。私は見とるけえね。ランク付けてる。と真っ赤な顔して話される。」 臥床時は人工呼吸器 (NPPV) 装着されている方。進行性難病により移乗介助を要し失語症がある。 ケア方法として毎回手の届く所にナースコールを置き、排泄中はその場から離れる様になっている。</p> <p>対応策</p> <p>本人へ詳細を管理者より確認。排泄介助前に他の利用者からのコール対応があり、苦情対象者のナースコールを置いたつもりになつてた。（発生フロア・時間帯：2F 遅出職員 1 名、夜勤看護師 1 名 18:00 頃） ⇒理事長へ報告事案として発見者、管理者より報告し謝罪 カンファレンスを開催し再発防止のため、振り返りと対応方法について周知徹底を行つた 再発防止として、コール対応が重複する時間帯や理由があるが、介助を行</p>
--	---

った職員は最後まで確認作業は怠らないことと
インカム（フロア内無線機）を使用しケアの途中経過及び終了確認を職員
間で情報共有する。

□相談受付報告

新規受付

10月 8件 11月 6件

<内容>

- ・ ターミナルケア
- ・ 退院後在家復帰サポート
- ・ 医療的ケアを受けながら療養生活移行
- ・

5. 地域の現状等情報交換・助言

インシデントアクシデント報告について

- ・ 皮膚の損傷報告が多いがどのような状況での事故なのか
⇒高齢者の方は皮膚が乾燥、浮腫など脆弱化しているため、保湿ケアやケ
アスタッフが様々な工夫によりアームウォーマー、レッグウォーマー等手
作りまたは市販の保護具を活用し創傷予防に努めている。

移乗時や体位交換時に摩擦が生じないよう、事故の度に介助方法を検討し
対策を講じているが、ゼロ事故にならないのが正直な回答となる。しかし
ながら、利用者の安全・安楽は今後もケアの質として対策し続ける。

- ・ 地域包括では相談窓口の管轄が安佐北区は広範囲である。可部地区は
事業所が多いが、白木地区など事業所が少ない場合地区外からのサー
ビス支援依頼がなかなか決まらない現状。

⇒当グループ内で情報共有しサービス提供ができるようにします。相談口
にお困りの際は、ご一報ください。

- ・ 町内会の秋の神輿は今年も無事に行う事ができました。今後もよろし
くお願いします。

⇒地域活動に参加できる機会のため今後もお声がけお願いします。

【長期連泊の承認について】

- ・ 施設入所が決定するまでは、連泊を承認する。

6. お知らせ

- ・ まちとも健幸教室開催

12/16（火）13:30～14:30 のぞみ薬局高陽店 2F

今日からできる脳卒中・認知症予防と上手な「脳外科」の頼り方

講師：さこぐち脳神経外科クリニック 迫口 哲彦医師

- ・ まちともひろばwinterパーティー

12/21（日）11:00～13:30 にのみやデイサービス・アクア

【連絡事項】

次回の運営推進会議

令和 8 年 2 月 10 日 (火) 10 : 00-10 : 30

看護小規模多機能ホームやすらぎ 相談室

以上